



文部科学省委託事業 報告会 まとめと今後の展望

2025年2月13日

株式会社CMU Holdings

津田貴

学習支援パターンの整理

(1) 生活介護を訪問して支援する

- ① **重心の方**において、**主体的な活動**を主な目的とするICT学習支援をおこなう
- ② **パソコン使用がある程度可能な方**において、**じっくり**ICT学習することを目的の支援をおこなう

(2) リモートで支援する

- ① **施設や学校から帰宅後**、**じっくり**ICT学習をおこなう
- ② **在宅就労を希望するが、訓練機会がない方**に研修をおこなう

持続可能な学習支援体制の検討

(1) 生活介護を訪問して支援する

① 重心の方の主体的活動に向けたICT学習支援

- ・スイッチなどの**入力支援機器**を活用することが多い
- ・コミュニケーションの獲得や豊かな生活を目指す

② パソコンやiPad使用経験者にじっくりICT学習支援

- ・豊かな生活や将来的に**福祉就労**を目指す

⇒ 令和6年度補正予算で、厚生労働省施策の「特別支援学校卒業後における生活介護利用モデルの作成事業」が可決された。

学習支援を希望する生活介護事業所と、教員OBや保護者などの学習支援員をマッチングする仕組みに貢献したい。

持続可能な学習支援体制の検討

(2) リモートで支援する

① 施設や学校から帰宅後学習支援をおこなう

- ・施設や学校でじっくりパソコンの学習したいができない方に、補習塾のようなイメージでおこなう

② 在宅就労を目指したいが訓練を受けられない地方在住者に研修をおこなう（令和6年度12名受講し、5名が一般就労）

- ・重度肢体障害あるいは精神障害で通所が困難な方、あるいは就業中の方が受けやすいリモート研修をおこなう

⇒厚労省のモデル事業で、生活介護ではないが可能か探りたい。